令和7年度　南和歌山医療センター　看護職員教育計画

看護職員能力開発プログラムVer.2

令和7年3月27日作成

レベル	到達目標		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
レベルⅠ	看護実践に必要な基本的能力を習得する	集合研修	1～5日 個別指導研修 5日(水) Nナースプログラム① （90分） 与薬技術　（注射） (90分) Ⅰ-3、4	2日(金) リフレッシュ研修 21日(水) 報告・連絡・相談　Ⅱ -1、2	4日(水) 食事介助(90分) Ⅰ-4	2日(水)　Ⅳ ナースプログラム② DVD-設置（90分） Ⅰ-3、4		3日(水) リフレクション (90分) Ⅴ 看護技術発表会に向けて Ⅵ-1（15分）	1日(水) 看護倫理（60分） Ⅱ-1、2	12日(水) Nナースプログラム② CVポート・CVポート皮下埋め込・抜去 (90分) Ⅰ-3	3日(水) 異常検査・看護職務(90分)　- 異常とは　= 異常発生時の観察の動き Ⅳ-5	21日(水) 看護技術発表会 Ⅰ-3、4		8日(金) ラダーレベル修了判定
		OJT	-マニュアルに沿った看護基本技術を説明できる -時にそって正確に確認できる -点滴を准備し、患者へ与薬できる -点滴管理ができる	-SBARを活用して報告できる -患者の状況を正確に報告できる -自分の状況を報告できる	-フォロー看護師とともに標下評価ができる -マニュアルに沿って食事介助ができる -患者の状況に合わせて食事介助の中断ができる	-受験試験チェックリスト（点滴静脈注射の容域から血管）にそってシミュレーターを用いて実施できる -フォロー看護師の指導のもと患者に点滴静脈留置が実施できる -技術チェック合格後は、一人で平時に落ち着いて実施できる		-概念における広ふられない看護場面を自己で振り返ることができる -指導のもとテーマに沿って課題レポートをまとめることができる	-概念における倫理について意見交換にカンファレンスに参加できる -カンファレンスでおこの考えを述べることができる	-受験試験チェックリスト（CVポートへの穿刺から血管）にそってシミュレーターを用いて実施できる -フォロー看護師の指導のもと患者に実施できる（2名） -技術チェック合格後は、一人で実施できる	-日報から異常に備えて自己の備えができる -異常に備えた環境整備ができる -アクションカードに沿って行動できる	-発表会での学びを看護実践に活かすことができる		
レベルⅡ	①観察に基づいた看護を実践する。 ②後輩と共に学習する	集合研修		14日(水) フィジカルアセスメント　(90分) Ⅱ-1	18日(水) ケーススタディ（90分） Ⅰ-4	11日(金)-14日(月)～18日(水) 18日(金) フィジカルアセスメント　（技術チェック） Ⅰ-1		2日(月)～8日(金) フィジカルアセスメント (技術チェック) Ⅰ-1	14日(水)15日(水) 急変時対応(90分) Ⅰ-1～4、Ⅱ-1		24(水) ケーススタディ発表会 Ⅰ-4			8日(金) ラダーレベル修了判定
		OJT		-患者を観察し正確な情報をもとにフィジカルアセスメントが出る -アセスメントをもとに患者の状態の変化に気付き、リーダーに報告できる	-日頃の看護を振り返り、エビデンスに基づいた看護を意識的に実践できる -エビデンスに基づいた看護実践をケーススタディとして事例を選定し、看護実践ができる -看護実践をケーススタディとしてまとめることができる				-患者の状態から急変のリスクについてアセスメントができる -患者の急変時に他看護師へ応援を依頼できる -先輩看護師とともに患者の急変に対応できる -自分の病棟で起こりうる急変のリスクについて考えることができる		-発表会での学びを看護実践に活かすことができる -ケーススタディを見直し、課題レポートとして評価視点をふまえてまとめ、提出できる			
レベルⅢ	①個別性を重視した看護を実践する ②看護実践者として、後輩に支援的役割を果たせる	集合研修		28日(水) プリセプターシップについて (90分) Ⅴ-2	25日(水) 看護の質と評価（60分） Ⅰ-1、2、4、Ⅱ、Ⅳ-1～3	23日(水) 意思決定支援（90分） Ⅰ-1、2、4　Ⅱ-1、2				19日(水) 意思決定支援後の自身の反応 (90分) Ⅰ-1、2、4　Ⅱ-1、2				8日(金) ラダーレベル修了判定
		OJT		-プリセプターとしての自己の役割を再認識できる -プリセプターとして意識的に新人看護師を支援できる -新人看護師の支援について定期的に振り返りを行える	-自部署の看護の質の評価と自部署の課題について看護師長、調看護師長とともに考えることができる -自部署の看護力を高めるための自己の役割について考え、実践できる -指導のもと課題レポートとしてまとめることができる	-日頃の意思決定支援について振り返ることができる -指導を受けながら意思決定支援ができる -意思決定支援に関するカンファレンスを実施（セミナー）することができる カンファレンス内容を看護計画に反映し、実践できる				-実践した意思決定支援を振り返り、自己の役割を再認識できる -意思決定支援に関する自部署の課題について考えることができる -意思決定支援についてチームで取り組むことができる				
レベルⅣ	①後輩の学習を支援する ②チームリーダーとしての役割行動がとれる	集合研修			11日(水) 「リーダーシップとは (90分) Ⅳ-1～5	9日(水) 看護倫理 ジョンセンのMS分類表 (90分) Ⅰ、Ⅱ		24日(水) ACP（90分） Ⅱ-1～2	29日(水) 病院訪問（90分） Ⅳ-1～5		10日(水) 文献講演発表 Ⅳ			8日(金) ラダーレベル修了判定
		OJT			-リーダーとしての自己の役割を再認識できる -指導を受けながらチームリーダーや委員会でリーダーシップを発揮できる	-日頃の看護を振り返り、倫理カンファレンスのテーマを選定できる -ジョンセンのMS分類表を活用し、意思決定に看護カンファレンスを行える -カンファレンス内容を看護計画に反映し、実践・評価できる		-受け持ち患者のACPについて考えることができる -患者のACPに合わせて看護計画を立案し、実践できる -患者の意思決定を支える看護について考えることができる -指導のもと課題レポートとしてまとめることができる	-自部署の看護実践状況について報告し、看護師長、調看護師長と共に自部署の課題を検討できる。 -自部署の教育改善に向けて主体的に地域活動を企画し、実践して実践できるよう働きかける		-日頃の看護を振り返り、根拠に基づいた看護を実践できる			
レベルⅤ前期	専門性の発揮、管理・教育的役割モデルとなり、研究的への取り組みができる	集合研修				-9日(水)～11日(金) -16日(水)～18日(金) -23日(水)～25日(金) 研究区用看護者実践発表研修　セーテーニング(20時間) Ⅳ-1～5		17日(水) 「看護研究とは」（60分）　Ⅵ-1	8日(水) QC活動のすすめ方　Q C7つ道具（60分） Ⅱ-1、2　Ⅳ-1～5		17日(水) 自部署の看護サービスを向上させるための取り組みについて（60分） Ⅳ-1～5			8日(金) ラダーレベル修了判定
		OJT				-看護師長のシャドーイングを行い、看護管理の実践を学ぶ -看護師長、調看護師長とともに自部署の課題を考え、課題解決に向けてリーダーシップを発揮できる -自部署における自己の役割を再認識し、自部署の看護サービスの向上に向けて取り組むことができる		-看護研究のテーマについて検討し、選定できる -指導のもと看護研究に取り組むことができる	-QC活動のテーマについて検討し、選定できる -指導のもとQC活動に取り組むことができる		-自部署の看護サービスの向上に向けて取り組むことができる -指導のもと課題レポートとしてまとめることができる			
レベルⅤ後期		集合研修	23日(水) 「研究の進め方」（90分） Ⅵ-1			30日(水) 「私の忘れられない看護」 (90分) Ⅱ-1、2			22日(水) 「研究のまとめ方」 (90分) Ⅵ-1			29日(水) 看護研究発表会 Ⅵ-1		8日(金) ラダーレベル修了判定
		OJT	-指導のもと看護研究に取り組むことができる -看護研究を抄録にまとめ、提出できる -看護研究を学会等で発表できる			-日頃の看護を振り返り、自己の看護観を言語化できる -看護観を自部署で共有する機会を持つ			-看護研究の発表に向けて準備ができる			-発表会での学びを実践に活かすことができる		